

内面エポキシ樹脂粉体塗装管の切管端面部の補修方法

1. 補修塗料

切管端面部の補修は、専用の端面補修用塗料(常温硬化型の一液性エポキシ樹脂)を用いて行います。端面補修用塗料の指触乾燥時間、硬化乾燥時間および塗装間隔を表1に示します。

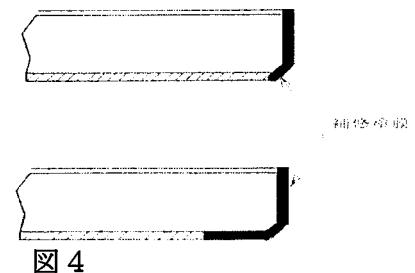
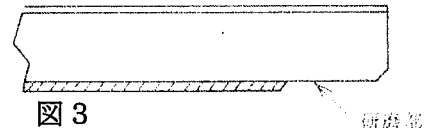
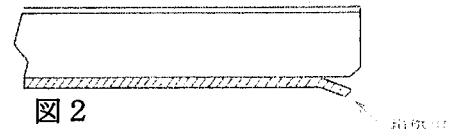
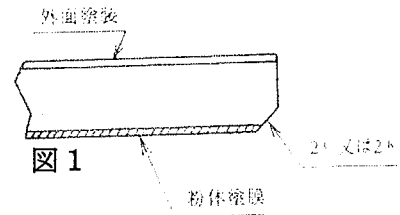
表1 端面補修用塗料(一液性エポキシ樹脂)の指触乾燥時間、硬化乾燥時間および塗装間隔

気温	指触乾燥時間	硬化乾燥時間	塗装間隔	
			MIN	MAX
10℃	10分	30分		
20℃	5分	15分		
30℃	5分	15分		

2. 補修手順

以下に手順を示します。

- ① 図1に示すように、切り口端面(内面側)について2°又は2^R程度の面取りを行う。
- ② 図2に示すように、塗膜に損傷部があれば、その部分を除去する。
- ③ 図3に示すように、損傷部が大きい場合には、塗装面と損傷部の金属面をグラインダおよびサンドペーパー(#160程度)で研磨する。
- ④ 図4に示すように、端面補修用塗料(一液性エポキシ樹脂)を刷毛で均一かつ平滑に塗装する。一回塗りで所定の膜厚(mm)が得られない場合は、表1に示した塗装間隔を守って、同様の方法で塗り重ねを行う。なお、外面塗装の上への塗装はできるだけ避ける。



3. その他

(1) 火気

作業場内では、喫煙も含め一切の火気の使用を禁止して下さい。喫煙場所は安全なところを選んで別に設けて下さい。

(2) 換気

塗装する時は、通風の良い場所で行うことが前提です。通風の良くない場所での作業を行う場合は、人工的に換気又は排気装置を設置して下さい。

【参考：使用する一液性エポキシ樹脂塗料】

ダクタイト管端面補修用塗料(JWWA K 139 水道用ダクタイト管合成樹脂塗料)
「製品名：クボタコートRP-102(グレー)」

なお、本塗料は速乾性ですので密封して保管して下さい。

以上